

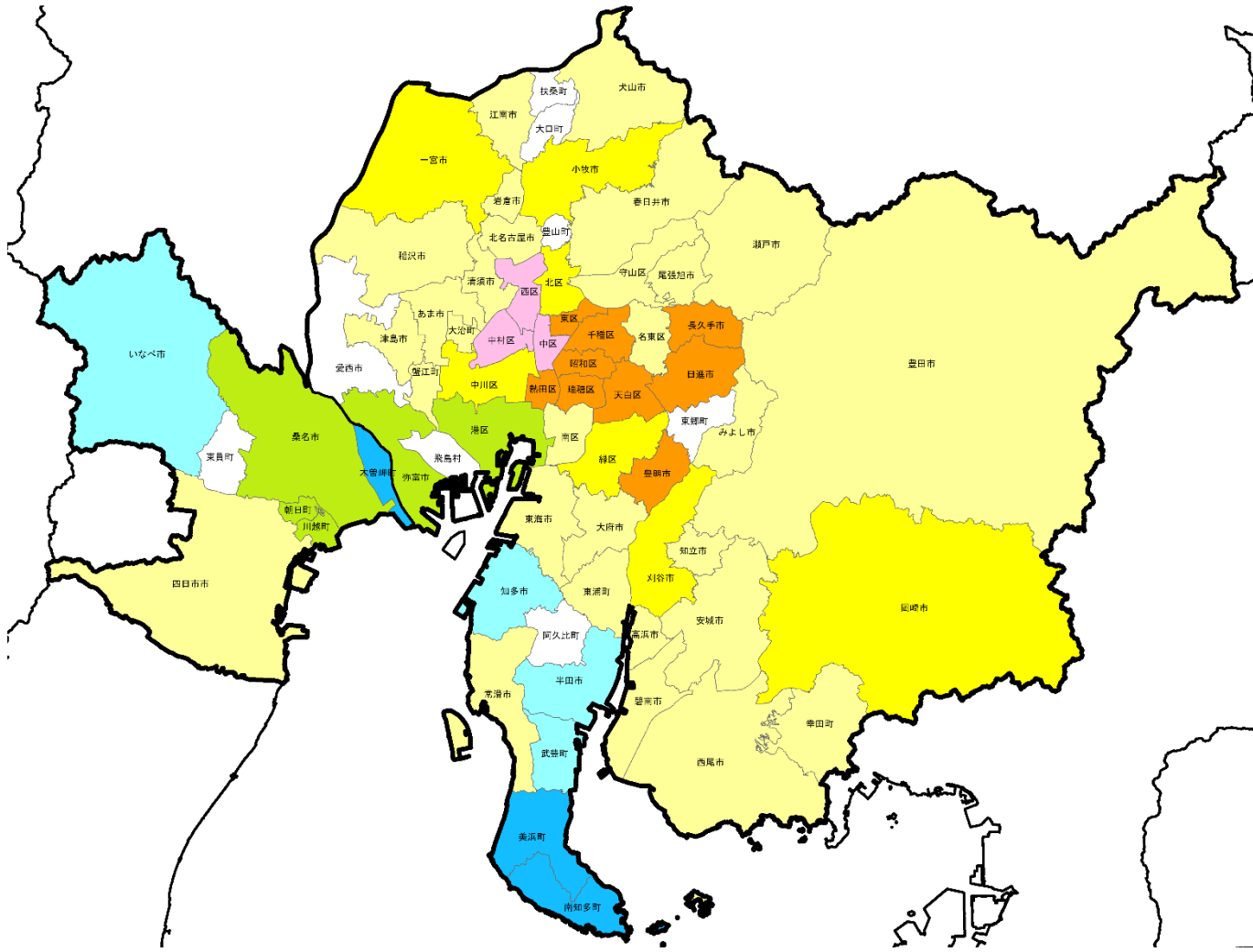
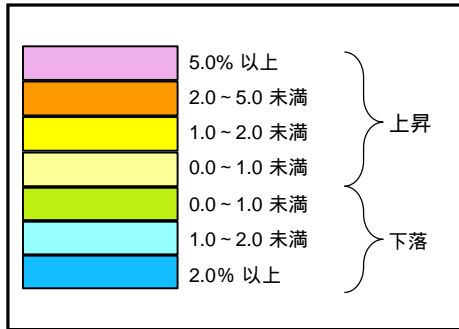
6. 名古屋圏の商業地

()は前年変動率

愛知県	<p>名古屋市は5.3%上昇(4.7%上昇)。名古屋市中心区では名古屋駅周辺地域を中心に高い上昇を示す地点が見受けられるほか、その他の区においても繁華性を維持する商業地では需要が堅調であり、また、交通利便性が良好な地域ではマンション素地としての需要も堅調なことから港区を除き全ての区で上昇を続けている。西区は5.1%上昇(2.9%上昇)。中村区は17.8%上昇(17.9%上昇)。中区は10.8%上昇(7.0%上昇)。名古屋駅周辺では、大規模再開発事業が進捗する中、オフィス需要・店舗需要ともに堅調に推移し、併せて、リニア中央新幹線の整備を見据えた地域ポテンシャル向上への期待感もあって、高い上昇率となった地点も見られ、上昇が続いている。また、錦、栄地区では店舗需要が堅調であることに加え、投資用不動産としての需要も見られ、上昇幅が拡大した地点も見られる。千種区は3.1%上昇(4.9%上昇)。東区は3.8%上昇(4.2%上昇)。昭和区は3.5%上昇(4.4%上昇)。瑞穂区は3.1%上昇(4.0%上昇)。天白区は3.2%上昇(4.4%上昇)。各区とも上昇幅は昨年より縮小しているが、地下鉄駅至近の幹線道路沿いは店舗需要やマンション素地としての需要が堅調で、上昇が続いている。西三河地域は、地域経済が好調さを維持しており、飲食店舗等の需要が比較的堅調で、上昇を続けている。刈谷市は1.6%上昇(1.5%上昇)。刈谷駅周辺は相応に繁華性を有しており、店舗需要が堅調で、上昇を続けている。尾張地域は、繁華性を維持する商業地では店舗需要が一定程度見られ上昇を続けている。日進市は3.7%上昇(3.5%上昇)。赤池駅周辺は、店舗需要やマンション素地としての需要が堅調で、上昇を続けている。</p>
三重県	<p>四日市市は0.2%上昇(0.1%上昇)。近鉄四日市駅前では再開発事業の進捗に伴い繁華性が向上し、店舗需要が堅調であり、また、駅徒歩圏内ではマンション素地としての需要も見られ、上昇を続けている。</p>

市区町村別の状況（名古屋圏・商業地）

平成28年調査



平成27年調査

